

# 統合医療の2大巨頭

西洋医療だけでも、代替医療だけでもない。  
人間を身体だけでなく精神までオールラウンドに支える、真の統合医療へ

**丹羽 耕三**

(土佐清水病院院長)

**対談**

**帯津 良一**

(帯津三敬病院名誉会長  
日本ホリスティック協会会長)

司会進行：長瀬 雅之（ジェナー動物クリニック院長  
丹羽メイディカル研究所所長）

写 真：小野寺 広信



# 日本SOD研究会報

No.89

発行元  
日本SOD研究会  
住所 〒158-0094  
東京都世田谷区  
玉川1-15-2 B棟2802  
TEL. 03-5787-3498  
FAX. 03-5787-3419  
<http://www.sod-jpn.org/sod/>

ほんとうにここ数年のことである。さまざまなメディアから代替医療、統合医療、ホリスティック医療、というような医療を多方面から広角的にとらえた治療法の文字が発信されるようになつたのは。

しかし、今回ここに登場のおふたりは、実に25年以上、四半世紀も前から西洋医学の限界を察知し、独自の統合医療の道を探り、研究臨床を重ねてきた。ふたりは偶然にも同世代。西の京大医学部、東の東大医学部。日本の医学の最高峰から生まれた逸材が、いま、ここに初めて対面し、医療の根源、未来について熱く語り合つた。



うオペ室に入ることはなくなりましたね。

丹羽 そうですよね。分かります。ベッドはどれくらい?

帶津 99床です。一般病棟で。

丹羽 ドクターは?

帶津 6、7人で、パート・ドクターが毎日2、3人いますね。

丹羽 だいたいうちと同じくらいですね。僕はそれに加えて診療所が全国10ヶ所くらいにあって、毎月そこに不定期に行っているんです。各地に

ずっと前からお名前は聞いていて、ようやく会えましたね。

丹羽 ようやくお会いできましたね。もう何年も前からお名前は。

帶津 私もそうですよ。

丹羽 先生は東大は何年卒ですか?

帶津 昭和11年生まれで、昭和36年に卒業です。

丹羽 ああ、ぼくより若い。オペ(手術)

はいつまでやつてらしたんですね?

帶津 今の病院でやらなくなつて5年くらいです。若手が今はやつていますから、も

ます? 帯津 なんでも(笑)。だいたいビールを飲んで、そのあとは焼酎やウイスキーの水割りを。

丹羽 しもたー! 僕ね、3日前にスコットランドから帰ってきたとこなんですよ。学会で行っていたんですけど、英語でウイスキーの水割りのことスコッチ&ウオーターっていうじゃないですか。あれね、スコットランドの自慢なんですね。あっちに行くと、15年もの、25年もののスコッチがあるんです。ああ、そんなに先生がお好きやつたらお土産に買つてくるんやつたなー。

## 健康法は気功と夜の一杯(帶津) 野球で毎晩バットの素振り(丹羽)

丹羽 先生は何か特別な健康法とかされてるんですか?

帶津 あまり特別なことはしないんですけど、毎日、患者さんと気功をやっていますね。あとは夜一杯、飲むこと(笑)。これが健康法ですね。丹羽先生は?

丹羽 僕は野球をやつているんです。高校時代に野球部だつたんですよ。でも大学に入つてからはずっと勉強ばかり。ここ40年くらいは毎日必ず2、3キロ走つていたんですけど、それだけではつまらなくて野



球をまた始めたんです。200人くらい従業員いるとなかには野球をやつていたヤツがいたりして、チームを作った。そうすると勝ちたくなつて軟式野球連盟に入つて、地区大会などにも出ているんですね。そうしたらノンプロの選手が入つたりして、だんだん強くなつてきて、国体に出てやろうというのが今の野望ですわ（笑）。僕、サードで1番を打つてますからね。毎日、大汗かきますわ。寝る前はどんなに疲れていてもバットを100回素振りする。

**全員**ええーつ!!  
**丹羽**僕ね、老人ボケは定年退職が原因だ

と思う。無理に働かない、頭使わない、動かない。そらもうボケますよ。年をとればとるほど頭を使つて体を動かして汗を流さないと。ゴルフはあかん。あれは止まつているボールを打つでしょ？ 野球は130キロ近くのスピードで飛んでくるボールをバットでスイングするでしょ？ コンマ何秒かでヒットになるかならないかが決まる。瞬発力と動体視力が養われる。だから野球をやつていたら絶対にアルツハイマーにならない。僕が知っているなかでいちばんの薬ですわ（笑）。

### 医師としての エリート街道をはずれ 独自の病院開業への みちのり

**長瀬**お二人はどのような経緯で今の病院を開業されたんでしょうか。

**丹羽**僕は子供の頃、身体が弱くて、そのうえ学生時代に勉強しそうぎたのもあって、ものすごく体調を悪くしたんです。それで、子供の頃に疎開したとき元気になつたのを思い出して、土佐に行つたんで

す。そしたら元気になるし、医者がいないからっていうんで診療していたらどんどん患者さんが増えて、そろそろ都会に帰ろうかと思つたら、市のほうから、土地を提供するから病院を開業してくれと頼まれて、それで開業したわけです。空気がいいから研究所もいつしょに作つて、そのうちに全国に診療所ができて、あつちこつち行くようになつたんです。

**帶津**最初は保険診療だつたんですか？

**丹羽**そうなんです。ところが田舎というのはひがみやつかみがすごい。僕はゴルフもせんし、お酒も付き合わない。そんな時間あるくらいなら研究してみたい。周りのお医者さんにしたら、僕がまじめに診療したり、論文を発表したりしているのが気に食わなかつたんですね。それはもうあの手この手でつぶしに合いました。果ては厚生省やら代議士まで出てくるくらいエスカレートしてね、そんなどきに息子が小児ガンで7歳で亡くなつた。それを機に、もう副作用で苦しむだけの抗がん剤はやめや。自分で薬も開発して、自由診療でやつていくからもういいと。聞きなおつたんです。帶津先生は東大派閥だし、都會でやつておられるからそういうやつかみには合わないでしょ。うらやましい。

**長瀬**帶津先生はずつと都立駒込病院でお

やりになつていて、どうして病院を開業しようと？

帯津 駒込でやつていたときに西洋医学というか手術に限界を感じたんです。それで中國医学に目をつけて、そつちでガン治療をしようとしたんですが、国内で教えを請う人がいなくて、それで中国に行かせてもらつたんです。そこで気功に出会い、駒込に帰つてからやろうとしたんですが、誰も相手にしてくれない。だいたい患者さんが相手にしてくれないんです（笑）。で、止めようと思つたんですが、なんかいつかこういうのが使える時代になるという予感がして、それなら大きい組織で不自由感じながらやるより、自分がお山の大将になつて“俺がやる！”といつたらできるような組織を作つたほうがいいと。

やりになつていて、どうして病院を開業しようと？

帯津 駒込でやつていたときに西洋医学と



長瀬 先生方は天然のものを使つて治療する意義というのはあると考えていらつしやるわけで、僕はいま、丹羽先生といつしょに開発しているお薬を使つてているんですけど、確かに、ワンちゃんに使つても副作用がないんです。もちろんガンが完全に治るとはいいませんが、少なくとも副作用はないし、エネルギーも維持できる。

丹羽 抗がん剤使ついたら3ヶ月で死ぬところを半年、1年、苦しまず逝ける。

丹羽 気功もよく効く。僕がいま病院でマグニーティー石というのを使って岩盤浴治療して



いるんですが、あれも気功と同じ原理で、石の持つてる波動の力。人間も凄い人はホントに凄い。僕は以前、アメリカの医学雑誌に書いた遠赤外線の論文に、ジーザスクライスト・イズ・ア・グレート・キコウシと書いたんです。キリストは偉大な気功師だと。

丹羽 その通りだと思いますよ。

丹羽 あとね、育成光線（特殊な遠赤外線）は、正常な細胞のアクティビティはむちゃくちや上がるけど、ガンの上げてはいけないアクティビティは下げる。これが科学薬品と違うところですね。抗がん剤は、ガンは叩くけど正常な細胞も叩いてしまう。冬虫夏草やびわの種も、中国のほんとうにいいものを使つたら効きますね。ぼくもこの年になるといろんなことがわかつてくる。

## 統合医療とはしつかりした 西洋医療あつて初めて成り立つもの

帶津先生もそうだと思うんですが、生薬は確かにいい。僕も自分の開発したものをメイクに使っている。しかし、今の漢方のお医者さんのいちばん悪いところは西洋治療を全面的に拒否するところや。CTスキャンや検査は副作用のない範囲でやるべきやね。ちゃんと症状を確認してから治療しないと。肺炎を起こしたらやっぱり抗生素質を投与しないと、年寄りなんか死んでしまう。漢方なんかそんなのにはまったく効かない。もうね、そのことに関しては頭が固い、選択肢が狭い。

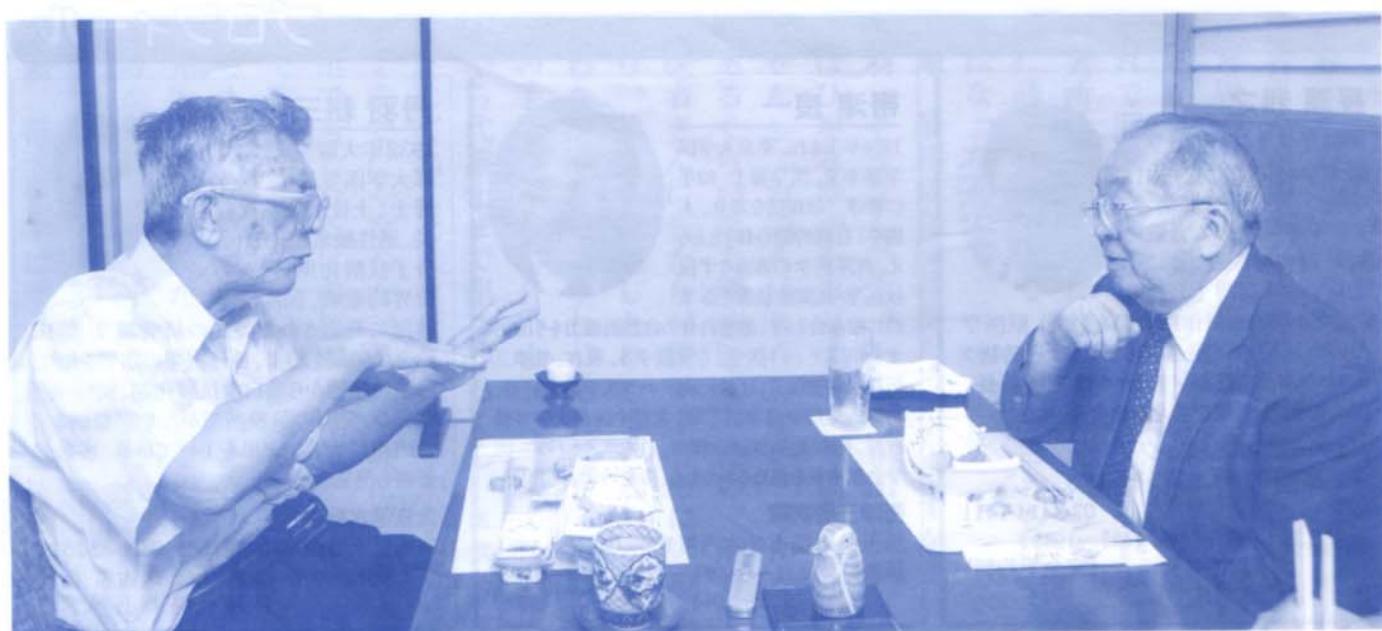
長瀬 漢方、ホメオパシー、フラワーレメディなどをやっている人はストイックになつてそのことひとつに集中する傾向がありますよね。

帶津 そうですね。西洋医学をまったく拒絶してしまうのは良くないです。私はいつも言っているんですが、西洋医学がしつかりしていないと統合医学にはならないということ。ガンの患者さんがいくら西洋医学以外でやるといつても、閉塞性黄疸になつたり胸水や腹水がたまつたりすると年中、刺して抜かなきゃなんない。これはエキスパートがやらないと。ですからうちの西洋医学はしつかりしていますよ。抗がん剤も使うときは使いますし。

丹羽 うちもそれはいつしょです。で、抗

がん剤は自由診療だと高いから、知り合いの医者のところに行つてもらつて保険で使つてもらうようにしたりします。うちの息子が千葉大学のガンセンターで医者としてやつてまして、ずっと僕のことを見馬鹿にしてたんです。ところがガンセンターと丹羽療法を掛け持ちしている患者さんがどんどん治るものだから、とうとう頭を下げる。去年、ガンセンターから僕のところに来ました。こいつがやっぱり11年もガンセンターにいたものだから乳がんの肺転移、肝臓転移、胃がん、肺がんなどは放つておいたら1年で死ぬところを抗がん剤で1年半から2年生きるというので、ぱんぱん使っています。それで僕といつもケンカです。抗がん剤使ってうまいもんろくに食べられず、ゲーゲー苦しんで死ぬのなら、わしはうまいもん食べてニコニコして1年で死ぬ方を選ぶつて。僕は延命効果が1年くらいのものには使わない。5年とかになつたら使う。

## 生涯現役。10年後の夢は 診療しながらパタリと逝くこと



**丹羽** そう。日本は西洋医学がしつかりしているからこそこういうことが言えるしで  
きるんです。

長瀬 となると、中国や中医学だけ  
どのようにしているんでしょうか？

**帶津** うーん、それがね、日本の医師免許を持つていて中医学専門にやっている人たち

はまだいいと思ふんですか、それでない、鍼灸専門の人など中医学だけの人が中国から相当来てて、こういう人たちが西洋医学はやらないほうがいいということを平気で言うんですね。これが良くないです。患者さんの選択肢を奪つてかえつて悪化させちゃう。

長瀬　CTや血液生化学検査をしないで、ほとんどが脈をとつて靈視のようなことで判断するわけですからなかなか怖いものがありますよね。

**帯津** やはり全体を診ることが大事で、ホメオパシーでも少しかじるとこれに没頭して天下をとつたような気になつて、すべてをホメオパシーで片付けようとするんです。そうじやなく、ちゃんと西洋医学も、中医学も頭の中に置いてのホメオパシーなんですね。

丹羽先生のところは音楽療法もやつてらつしやるし、太極拳もやる。腹式呼吸は副交感神経を刺激するからいいんですよ。そういういろんなことを組み合わせてるから

効いてる。本当にいい医者はひとつだけじゃなく、いろんなことを組合せてる。それが統合医療というものです。そして、西洋医療のいいところだけ持つてくる。それが

ホントの医療

帶津 本当に、そう思いますね。いや、丹羽先生は私が想像していた以上に楽しくて

丹羽　こちらこそ、今まで会わなかつたのが不思議なくらい。これからはいろいろ協力し合つていきましよう。うちの患者さんもお願いしますから、紹介状書いたら優先に（笑）。

帯津：丹羽先生の頼みなら聞かないわけにはいかないですよー（笑）。

長瀬 最後におふたりの10年後の夢はなんですか？

帯津 今の道を行くことですかね。成功しなくてもいいからどんどん行くこと（笑）。

丹羽 そこに向かつていくことに意味があると。まつたくいっしょですわ。何が待つ

人生、それが口マンですよ。

長瀬 では生涯現役ですか？

帶津 もちろん。現役で倒れて死ぬと。

丹羽 うまいものを食べて、診察しながら  
コロコロ死ぬ（笑）。

## プロフィール

長瀨 雅之

1964年生まれ。酪農学園大学から東京大学大学院へ。小動物の腫瘍、アレルギー疾患など難病の研究を私設ラボにて行い、丹羽博士と共に動物用SOD様作用食品を開発。獣医学の統合医療の先駆者。01年ジェナー動物クリニック開業。丹羽メディカル研究所所長。安心の動物医療を考える会会長。

ジエナー動物クリニック  
東京都世田谷区上馬5-16-19

03-3414-1411



带津 良一

1936年生まれ。東京大学医学部卒業。医学博士。82年に帯津三敬病院を設立。人間を「有機的総合体」ととらえ、西洋医学のみならず伝統医学・民間療法等を体系的に組み合わせ、患者自身の自然治癒力を引き出す「ホリスティック医学」を実践する。現在、帯津三敬病院名誉院長、日本ホリスティック医学協会会长、世界内気功学協会副主席。北京中医薬大学客員教授。国際薬膳協議会理事。日本ホメオサー医学会理事長を務めるかたわら、多数の著書も出版。

**帯津三敬病院**  
埼玉県川越市並木西町1-4 049-235-1981  
診療時間：月～金 9時～12時 14時～17時  
土 9時～12時



丹羽 耕三

1932年大阪生まれ。京都大学医学部卒。医学博士。土佐清水病院院長。活性酸素とSOD(高分子抗酸化剤)研究の世界的権威。国際医学雑誌に発表された英文の研究論文、臨床論文は60編を超す。西洋医学の限界を知り、自然の植物から独自の抗酸化剤、制癌剤を開発し、全国の診療所でがんや膠原病などの治療に大きな成果を上げている。多数の著書も出版。

**土佐清水病院**  
高知県土佐清水市幸町5-3 0880-82-2511  
**サテライト診療所** 福岡 大阪 名古屋 金沢  
新潟 札幌 横浜 大宮

## 新横浜駅前診療所より

## 丹羽療法 治療レポート

今月から毎回、全国の丹羽療法による診療所、クリニックで丹羽先生が自ら診療した患者さんの最新経過レポートをお送りします。

今回の患者さんは前立腺がんを患つた65歳の男性の方です。

「このがんは日本人には比較的少なかった症状でしたが、やはりここ20年、西洋風の食事などの影響で非常に増えているがんです。手術をすると、去勢するようなものですから、セックスだけでなく、おしゃべりも自力ではできなくなるのでたいていホルモン剤治療をすることが多い病気です。しかし、ホルモン剤治療をやると20人にひとりくらいは肝臓をやられてしまううえに、男性ホルモンを減らすわけですからほとんどの人が立たなくなる。つまりはセックスができなくなるわけです。ですから、男性には深刻な問題です。が命の方が大事ですから、みなさんはホルモン剤治療をされるわけです。今回、うちにいらした男性は4年前からホルモン剤治療をしていました。前立腺がんの特異抗



原を表すPSA値が上昇していくから一日15袋のSOD様作用食品を飲ませました。そうしたら一ヶ月でマーカーが150から50以下になりました。4年間のホルモン剤治療による動悸、息切れ、立ちくらみ、嘔吐というような副作用も取れ、喜んでいらっしゃいます。これからはずつとSODとホルモン剤を併用していくことです。

この前立腺がんに関しては、千葉大学の教授もラットにSODを投与したところマーカーの数値が正常化し、副作用も取れると発表されています。

医学博士

土佐清水病院院長  
丹羽耕三

(新横浜駅前診療所にて  
2006年7月21日談)

## SOD様作用食品とその開発

SODとは、スーパーオキサイド・デイスミターゼの頭文字をとったもので、「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。最近、健康のカギを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、ガンや成人病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになつてきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内的SODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽耕三医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときご子息を白血病で亡くされ、それをきっかけにSODの研究を始めました。副作用がまったくないガン治療薬、がテーマでした。



丹羽耕三博士

## 果物の力

る働きがあります。

手にとつて簡単に食べられる果物は、昔から人間にとつて手軽に摂れる栄養源です。ところが今現在日本では果物の摂取量が低下しているといわれていて、1日に1度も果物を食べない人も少なくないようです。

その理由として「果物の甘味やカロリーが気になる」「外食・偏食傾向がある」「面倒くさい」などがあるようです。しかし、果物にはカロリーは少なく脂肪分もほとんど含まれず、また果物に含まれる糖質はエネルギーとして変換されやすいのです。

果物はビタミンやミネラルは豊富で、食物繊維や体に必要な酵素も多く含まれています。昔から「朝の果物は金」といわれています。胃腸の働きが十分ではない朝に果物を吃ると胃腸は活発に働き消化吸収もよくなります。食欲の出ない朝でも果物を吃ることによつて体や脳が活性化しますので、手軽に摂れる果物をぜひ、食べるようにならしめましょう。

自然のさわやかな香りや甘さ、酸っぱさを感じられる果物を1日200gは吃べるようになります。また胃を刺激する酸がないため、胃腸の弱い人などにもよいでしょう。

◆アボガド  
「森のバター」と呼ばれるほど栄養価の高い果物です。アボガドは脂肪分も含まれますが、その80%は動脈硬化などを予防するオレイン酸で、血中コレステロールを減少させる働きがあります。良質のアミノ酸であるトリポトファンやリジンが含まれます。またビタミンE、ビタミンCが豊富なので抗酸化作用やがん予防、ポケ防止や、さらにはシミやソバカスなどを予防し美肌効果があります。

◆りんご  
アップルベクチンという食物繊維が含まれていて、整腸作用や大腸がん予防に有効とされています。またコレステロールを減少させています。またコレステロールを減少させます。

## 〔果物別栄養価〕

## 果物に含まれる主な栄養素

ビタミンC→美肌効果・コラーゲンの生成を助ける・カゼ予防・がん予防・抗酸化作用  
ビタミンA→カロチンという形で含まれる。皮膚や粘膜を健やかに保つ・目の乾燥や疲れを予防・がん予防・免疫力向上

食物繊維→便秘予防・がん予防・悪玉コレステロール低下・善玉細菌の発育促進

## 丹羽博士の著書

丹羽博士の、一般向けの著書の一部を紹介します。活性酸素と病気、SODについて、平易に書かれています。

「安心の医療・本当の健康」

「丹羽SOD様作用食品 摂取者の体験報告」(日本SOD研究会)

「クスリで病気は治らない」(みき書房)

「白血病の息子が教えてくれた医者の心」(みき書房)

「活性酸素で死なないための食事学」(廣済堂)

「正しい『アトピー』の知識」(廣済堂)

「天然SOD製剤ががん治療に革命を起こす」(廣済堂)

「医は仁術なり」(草思社)

「丹羽療法」(リヨン社)

「新刊『がん治療 究極の選択』(講談社)

「SOD様作用食品の効果【小冊子】」(致知出版)

リーフレット全20巻(廣済堂)



## SOD関連出版物一覧

成分の90%が水分です。体の熱を冷ましたり口や喉の渴きを潤すには最適な果物です。酸味が少なく水分が多いのでカゼなどの水分補給にはもってこいです。またタンパク質分解酵素やカリウムも含みます。

◆キウイフルーツ  
ビタミンCが豊富で、1個で1日に所要量が摂取できます。キウイの皮の近くにはアクチニジンという成分を含み、肉類などの消化を助ける働きがあります。

アーモンドベクチンという食物繊維が含まれていて、整腸作用や大腸がん予防に有効とされています。またコレステロールを減少させています。またコレステロールを減少させます。

## 丹羽SOD様作用食品

日本SOD研究会では、これまでに発行した「会報」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。

ご要望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会までご連絡ください。

TEL ○三・五七八七・三四九八  
FAX ○三・五七八七・三四一九

